

細胞と情報

1991-1996



研究総括
大沢 文夫

大阪大学 / 名古屋大学
名誉教授

研究領域の概要

この研究領域は、細胞を中心とした情報の受容、伝達、処理、行動制御の機構および細胞における情報の自発や学習の機構などに着目するものです。細胞内、細胞の内外および細胞間における化学物質や力、光、電気、熱など様々な情報を対象とし、生物物理学的手法や生化学的手法、分子生物学的手法などを用いた、情報システムの観点からの生物機能に関する研究などを含みます。

領域アドバイザー

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| 朝倉 昌 | 名古屋大学理学部 名誉教授 |
| 甘利 俊一 | 理化学研究所国際フロンティア
脳情報処理グループ
ディレクター |
| 石浜 明 | 国立遺伝学研究所 教授 |
| 笠毛 邦弘 | 岡山大学資源生物科学研究所
教授 |
| 濱岡 利之 | 大阪大学医学部 教授 |
| 林 主税 | (株)アルバック
相談役最高顧問 |
| 松本 元 | 通商産業省工業技術院
電子技術総合研究所
首席研究官 |

べん毛モーター回転機能

上池伸徳
名古屋大学遺伝子実験施設
非常勤研究員



「植物の免疫機構」の解明をめざして

川崎信二
農業生物資源研究所
生理機能研究グループ
上席研究官



免疫系による自己と 非自己の認識について

坂口志文
大阪大学免疫学フロンティア
研究センター 教授



脂質平面膜再生系を用いたCa²⁺イオンポンプ ATPaseのエネルギー 変換機構の研究

布垣一幾



なぜ哺乳類にD-アミノ酸が 残っているのか?

橋本篤司
東海大学医学部 講師



ものを見る脳のしくみ

藤田一郎
大阪大学大学院
生命機能研究科 教授



植物の形作りを支配する遺伝子を探る

町田千代子
中部大学
応用生物学部 教授



細胞増殖シグナルが広がる 仕組みについて

松田道行
京都大学大学院医学研究科
教授



器官の再生-失われた組織が 元通りになるしくみとは?

松本邦夫
金沢大学がん研究所 教授



永遠の命を持った脳細胞

森井博史
理化学研究所播磨研究所
助教授



シャーレの中で脳を創る

吉田祥子
豊橋技術科学大学工学部
講師



量子バイオフトン統計の測定と解析

ロナルド スコット
アラカンサス大学
教授



分子機械に個性があるか

工藤成史
桐蔭学園横浜大学工学部
教授



リンパ球の機能をささえる 細胞表面蛋白質

小杉 厚
大阪大学医学部 助教授



細胞はいかにして物質を取り込む

佐藤 智
京都大学大学院理学研究科
助手



サル前頭連合野の機能コラム

澤口俊之
北海道大学大学院医学研究科
教授



感染を捉える分子の情報ネットワーク

岩島敦夫
Loyola University Chicago
准教授



イオンを運ぶタンパク質のしくみ

大友 純
(株)日立製作所
中央研究所 主任研究員



明 る い 老 後 の た め に -白内障撲滅への挑戦-

小木曾学
名古屋大学医学部
共同研究員



物覚えをよくする脳の仕組み

関野祐子
東京大学医科学研究所
准教授



外部情報に应答して 細胞はいかにふるまうか

千葉智樹
筑波大学大学院 教授



独立レプリコンの研究

中西真人
産業技術総合研究所
バイオセラピューティック研究ラボ
研究ラボ長



細胞接着の変化と発生分化

野呂知加子
日本大学大学院
総合科学研究科 准教授



イオンチャネルが機能するしくみ

羽生義郎
産業技術総合研究所
生物機能工学部門
主任研究員



[第1期生]	平成3年度採択研究者 1991～1994
[第2期生]	平成4年度採択研究者 1992～1995
[第3期生]	平成5年度採択研究者 1993～1996